

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境と住み慣れた地域の中で地域住民との関係性の継続と支援を職員で統一しています。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスや日々の引継ぎの中で理念を掘り下げた具体的な内容で支援を心がけている。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には、入居時に理念の説明を行い、家族会や来所時に施設の取り組みや、近況報告を行っている。理念をロビーに大きく掲示してある。	○	地域への広報誌をこれまでに2回発行しているが継続して発行できるように今後も計画していく。
理念と共有 3項目中 2項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	入居者の散歩や畑の作業、毎日の犬の散歩など近隣所の方々とふれあう機会が多く、果物や野菜など頂いている。無償にて駐車場を使わせて頂いている。		春と秋の年に2回のお茶会を開催している。
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の春・夏のお祭りなど参加している。保育園との交流もある。公民館で出前講座を昨年は実行できた。		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方から医療・介護相談を受けたり、併設のデイサービスを利用される地域の方もあり、気軽にグループホームへ来所してくれる。同敷地内に居宅介護支援事業所もあり相談の窓口となっている。		地域の行事や会合に関わりながら今後も認知症ケアの啓発に努めて行く。
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員全員で行い、外部評価の結果はすべて周知し、改善事項はカンファレンスにて検討している。そこから学んだ事を活かしサービスの質の向上に努めている。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回の運営推進会議録を職員に開示して、検討事項は話し合いを行い、サービスの向上に努めている。		
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市から事業所へ定期的な介護相談員の来所がある。また、中学校や高校の福祉現場体験の実習生を受け入れている。	○	市や法人が定期的に行なっている地域における認知症ケアの理解や啓発活動などの勉強会に参加し方法など参考にしたい。
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は行政が行なう研修に参加している。職員も法人で行う勉強会に参加しており資料も置いてある。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は行政が行なう研修に参加している。職員も法人で行う全体の研修会に参加している。日ごろから細心の注意を払い防止している。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、事業所のケアの取り組み方や、利用料金については説明をし、特に医療連携体制の実際について、その都度丁寧に説明をしている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の家族の思いや意見を、職員に話される。介護相談員が定期的に来所される。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	それぞれの家族が来所(月1回以上は必ず)された時に現状の報告をし、他には電話・パソコンメール等で報告して文書も発行している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には来所された時や、家族会等で常に問いかけ、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議(勉強会、研修報告)や、カンファレンスを行い意見を聞くようにしている。また日ごろからコミュニケーションをとる事を心がけ、職員の意見を聞くようにしている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者、家族の都合の状態やペースにあわせ、状況(病院の定期受診)に応じて職員の調整をしている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は必要最小限にし、やむを得ない場合も、異動の時期や引継ぎの面で努力をしている。		
理念を实践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職からレポートの提出(プリセプター方式)を取り入れ、介護の実践、認知症の理解に教育・指導をしている。他には内、外の研修へ参加している。		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員も外部研修に参加して他の同業者と交流している。グループホーム連絡協議会の会合に参加している。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人全体の懇親会や、適宜な食事会の開催を行っている。日ごろからの声かけやカンファレンス等で、悩みなど聞くように心がけている。反対に管理者の悩みも聞いてもらうことがある。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の業務や悩みを把握できるように、面談を行っている。職員全員が個々に1年間取り組んできた実績をまとめ、研究発表会で報告し職員全員で評価して賞を授与している。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前のサービス事業所でご本人の状況や家族・介護支援専門員より生活全般の状況等を把握し、本人の言動に注意しながら、信頼関係を築く努力をしている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族が求めているものを理解して事業所としてはどのような対応ができるか、事前に自宅やサービス事業所へ伺い話し合いをしている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	近隣の方から相談を受ける事があり調整をしている。入所予約の方はすでに介護支援専門員が対応しておられる事が、ほとんどである。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	現在、入所されている方も通所やショートステイの利用時に入所前の見学等をされている。御自宅へ伺い、交流したり、情報を聞き取るなどして安心してサービス利用の開始をすすめている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶこと、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を一緒に過ごすことで職員が学ぶことは多く、一人ひとりと共に支えあう関係づくりに留意している。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしの出来事や、気づきの情報を家族にちかいいい支援していることを伝えている。		本人の思いを重点にすると家族の負担が大きいことを指摘された。
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族・本人の思いや状況を見極めながら外出や外泊で家族との貴重な時間を過ごし、よりよい関係の継続を支援している。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	遠方の方が多いが、お彼岸の墓参りの外 出や馴染みの理髪店の利用や遠方の親 族が訪問して下さる。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	日常生活の中で、それぞれの方の状態を 理解して家事等、共有できる時間を逃さな いように職員が調整役となり、声かけや誘 導している。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も家族の方が運営推進会議に参 加して下さったり、近くに来た際は、遊び 来てくださる。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの出来事や、気づきの中で、「何を望んでいるのか」「何をしたいのか」言葉や表情で理解するために丁寧に関わらせて頂く。		今後も入居者の思いや意向に気づいたら情報として記録に残し職員全員が共有する。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前後にできるだけ生活歴や環境、経過などの情報は収集をしている。家族の来所時に再確認もしている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	心身の状態は常に変化するので日々の言動や、表情から生活のリズムを把握するように努めている。		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の日誌の中に計画書も閉じてあり、職員がいつでも追加記入できるようにしてある。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の心身の状態や生活状況は日々変化しており、カンファレンスをしてそのつど家族や主治医へ報告して協力を得ている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の中にタイムスケジュールを導入しており確認がスムーズで水分、排泄、内服などの管理もれがないようにしている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスの利用者とレクリエーションに参加している。医療連携体制を活かし入居者やデイサービス利用者の身体の異常や予防の早期発見に繋げている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域での暮らしを安心して続けられるように消防・民生委員や町内会長との連携を積極的に行っている。定期的に警察官が巡回してくれる。		市の広報などを参考にして市や町内で開催される文化活動などに参加できる体制作りに取り組んでいきたい。
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の体調に応じて訪問美容・理容やボランティアの歯科検診などを利用しています。他のサービス事業者の利用はしていない		
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現時点では権利擁護などの必要性がなく活用していないが、運営推進会議に参加していただき情報交換をしている	○	市の広報紙を参考に積極的にかかわり協力関係を築いていきたい。
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には家族同行の受診となっている。本人、家族の希望を大切に、かかりつけ医との連携はスムーズにとっている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的受診や必要に応じ専門医師、看護師に相談したり連携をしている。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師の常勤職員がいる。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	これまでも早期退院に向けて医療機関との情報交換や相談をすすめている。(ここ2年間は入院は無かった。)		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族、介護職員から終末期ケアについてアンケートを取り随時、観察事項の指導や実際の訓練をしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在も終末期に移行する可能性のある方もおられ、職員はもちろん家族及び主治医へ今後の対応に向けて方針を確認しているところである。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族、本人に関わる関係者と詳細の情報交換をしている。		
地域資源との協働 10項目中 9項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	排泄や入浴の支援などそれぞれの方に応じ、さりげない声かけをしている。職員間で各利用者名はイニシャルで呼び、プライバシーの配慮に心がけ、記録物は専用の棚に保管している。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活を共に過ごす時間の中で、お茶や外出やレクリエーション、入浴など可能な限り本人の希望・思いをお聞きして表情を読み取り生活を支援している。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの睡眠時間や、起床時間はまちまちで朝食時間もいろいろであり、体調に配慮しながら日々の生活を支援している。本人ペースを大事にしている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	朝の着替えや化粧などは可能な限り本人の意向でされる。自己決定の困難な方は職員と一緒に考え了解を得るようにしている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望により献立の変更や、急に外食になることもある。食事の準備、片付けなど職員と一緒にしている。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員はそれぞれの利用者の嗜好(お酒やタバコ、コーヒー等)は理解しており、生活を楽しめるように支援している。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を使用して、排泄パターンを把握し、さりげない声かけや誘導で気持ちよい排泄ができ、職員も共感している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	原則として入浴日は決めてあるが、利用者の方が希望する日、時間に入浴していただいている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努めている。それぞれの体調や気分により休息がとれるように支援している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	季節の野菜の漬物作りや、畑の作業、庭の手入れなど役割をもって頂いている。動物療法や散歩等、様々な活動を通じて気晴らし出来るように支援している。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	それぞれの所持金を管理しながら、買い物やお出かけの時さりげなく支援している。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	それぞれの希望を聞き季節に応じた外出や犬との散歩、本人の買い物など体調に合わせて支援している。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	レストランやお寿司屋さん等の外食、季節に応じ、桜やバラ園などへ出かけている。それぞれの家族が行事ごとに入居者本人と共に出かけている。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族から電話があり会話をされるが自ら希望されることはない。娘にお礼の手紙を書かれた。周辺症状によっては手紙がより混乱のきっかけとなる事もある。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	それぞれ利用者の部屋で気軽に過ごしていただいている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを、職員全員が理解しており拘束のないサービスを提供している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や縁側は日中は自由に入出りできる。午後8時には玄関は鍵を閉めている。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	さりげなく全員の行動や状況を把握するように努めている。職員は安全配慮義務を理解している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態を把握しながら、危険物(包丁やはさみ等)を使用する時は、職員全員が一緒に行っている。管理は定位置に保管してある。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態を把握しながらその方にとって事故原因と思われる事柄を職員全員が理解し注意している。必要なマニュアルを用意し、訓練から学んでいる。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時の対応についてマニュアルを整備し習得するようにしている。定期的に訓練は行っていないが随時指導はしている。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルを整備し、習得するようにしている。避難路の確保[整備整頓]の確認をしている。6月に夜間体制での避難訓練を地域の方も参加されて実施した。		2階に入居している方の避難経路を検討中である。(予算の関係上時間を要する)
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	それぞれの状態に応じて家族の来所の時や家族会などで対応策などを話しあっている。施設外の徘徊や介護の抵抗など施設としての対応やケアを説明をしている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	それぞれの精神状態や体調の状態に応じて対処方法を説明している。ヒヤリハットの記録。家族への報告は都度している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理ファイルを作成して説明書を添付しており、日ごろから症状の変化や、予測される症状をを個別日誌や、すいれん日誌に記録してある。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体を動かす機会を適度に設けて、食材の工夫や、水分摂取量の管理など便秘の予防につとめている。(昼前の便秘予防体操や失禁体操・散歩等)		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に個別の口腔ケアを支援している。毎月、歯科医師がボランティアで検診に来て下さる。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの1日の栄養、水分摂取量を把握しており、おやつ等でコントロールしている。[職員に調理師がおり食材の工夫をしている。]		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の予防・対策に努め、マニュアルを作成し早期発見、早期対応に努めている。インフルエンザの予防注射は入居者、職員全員が受けている。(手洗い・うがいの励行・消毒)		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、台所水廻りの清潔衛生を保つよう職員で取り決めて、実行している。(夜間帯でフキン・まな板の漂白・除菌など)		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るい雰囲気のある玄関になるように、花を飾り玄関先にプランターを置き、すいれんの花などで季節感をだしている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	キッチンが中央にあり、普通の家庭と同じように茶碗を洗う音やご飯の炊けるにおい、ラジオから流れる音楽など自然な雰囲気である。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ロビーや縁側に椅子やテーブルを置き、仲間と談笑したり、ひとりで過ごせる居場所として置いてある。愛犬[レンちゃん]もいる。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力を得てできるだけ使い慣れた家具や、寝台にして家族の来所や宿泊の時、居心地よく過ごせるように配慮している。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	普段は空気の入替えを随時行ない、縁側は日中は空けてある。トイレは換気扇や消臭剤などで工夫している。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗面所や、調理台の高さなど使いやすい高さとなっている。できるだけ自立した生活が送れるように工夫している。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入口やトイレ、風呂場などに表札にて明記している。症状の変動により随時ミニ・カンファレンスで話し合い、自立した生活が継続できるように工夫している。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に季節の花を植えたり、置いてあるベンチでのんびりお茶を楽しむ。近所の畑で野菜作りをしている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

(部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

町内の一角にある普通の民家改修型グループホームであり、開所後6年目に入り、ますます地域の方から“すいれん”を受け入れていただいています。「ここは“すいれんさん”」と、耳にすることが多くなり、地域の方々の暖かい応援を職員全員が感じています。近所にある保育園の園児との交流ができ、子供の笑顔が皆様の活気に繋がっています。また、生協のステーションとなっており、子供連れの地域の方々がホームへ必ず立ち寄って下さっています。デイサービスすいれん・居宅介護支援事業所すいれんが併設されており、ますます地域住民の方々や、ご家族様も気軽に来所して相談して頂けるようになりつつあります。現在、最初からおられる入居者は一人になりましたが、重症者の介護や急変時の対応の経験をさせていただき、気軽に相談できるかかりつけ医や、常勤の看護師がいる為、いつでも医療関係の対応ができ、それぞれの方の体調によって予測できる症状に対する観察事項や処置法を随時伝え、記録に残し職員全員が対応できるようにしています。入居者様と一緒に過ごしながら、喜怒哀楽を共にし、本人・家族から学んだり支えあう関係を築いている、アットホームなグループホームすいれんです。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	2 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	9 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (1 項目 / 5項目) について

広報誌の発行を行う。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目 / 2項目) について

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (1 項目 / 4項目) について
地域包括支援センターとの協働の必要性があれば一緒に協働していきたい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目 / 7項目) について

V サービスの成果に関する項目について

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日: H21年 9月 10日

前回評価年月日: H20年 9月 12日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
3	1	広報誌の発行	平成21年10月			